

平成30年度 一期入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号32

千葉県立船橋古和釜高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

自立した社会人になるために高校進学を強く望み、入学後はルールを守り、学校の指導に素直に従い、かつ、次のいずれかを満たす生徒

ア 学習活動・特別活動等に意欲的に取り組み、地道な努力ができる者

イ 中学校で部活動に積極的に参加し、本校の部活動を3年間継続して行う強い意志がある者

2 選抜資料

(1) 学力検査	3教科（国語・数学・英語）の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接
(4) 作文	時間30分・字数301字以上400字以内
(5) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査（300点）

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科（各教科100点満点）の合計300点満点で評価する。
個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合、審議の対象とする。

(2) 調査書

アの数値に、イ～カについて加点（上限100点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	内容に応じて数値化する。
ウ 行動の記録	内容に応じて数値化する。基準を設け、慎重に審議する。
エ 特別活動の記録 オ 部活動の記録	内容に応じて数値化する。
カ 特記事項	資格取得の状況を内容に応じて評価する。
キ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接（160点）

s・a・b・c・d・eの6段階で評価する。2名の評価者の評価（各80点満点）を合計し、160点満点で評価する。評価点が80点未満の場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 意欲	面接の質疑応答より、本校に入学する意欲がある。
イ 規範意識	面接の質疑応答より、規範意識がある。
ウ 言葉遣い・応答の的確さ	質疑応答のやりとりが正しくおこなえる。
エ 服装頭髪・態度	面接中の身だしなみや行動が本校生徒としてふさわしい。

(4) 作文(30点)

A・B・C・Dの4段階で評価する。2名の評価者の評価(各15点満点)を合計し、30点満点で評価する。

評価項目	評価基準
ア 内容	内容が適切である。
イ 字数	字数を満たしている。

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査(3教科)の成績」、「調査書の得点」、「作文の得点」、「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

総得点の満点の内訳

学力検査の成績	調査書の得点		面接の得点	作文の得点	総得点
	評定(算式1)	加点			
300点	$(135 + \alpha - m)$ 点	100点	160点	30点	$(725 + \alpha - m)$ 点

(算式1)  $\alpha$  : 県が定める評定合計の標準値95

$m$  : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年(義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年)の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

特になし。